

森を育む人づくりサポート体制整備事業

1. 事業の目的

この事業は、みえ森と緑の県民税市町交付金事業等を活用した地域の森林環境教育や森づくり活動を促進するため、活動の基盤となる指導者・活動者の一定水準の知識・技術の習得を目指した育成を行うとともに、活動にかかるコーディネートや相談対応、情報収集・発信、普及啓発、教材の提供、道具の貸出等を行い地域の取組を支援するものです。

また、それらの取組にかかる総合窓口として「森づくりサポートセンター」の設置準備を進めます。

2. 平成26年度実績

1) 森づくり推進員の配置

地域で行う森林環境教育や森づくり活動の促進をはかるため、県の窓口として森づくり推進員を配置しました。

【森づくり推進員の活動】

小中高等学校や森林環境教育指導者（森のせんせい）等からの森林環境教育や森づくり活動に関する相談に随時対応するとともに、市町教育委員会や小学校に対して、森林環境教育に関する広報活動を行いました。

また、小中高等学校等からの相談うち、市町交付金事業の対象とはならない事例については、森林環境教育指導者を紹介するなど、活動のコーディネートを行いました。（参照：2） 2-4）出前授業のコーディネート）

内容	件数	調整・連携の相手
活動にかかる相談	36	市町 3、学校 11（うち、コーディネート 8）、森林環境教育指導者 14、森づくり活動者 2、その他 6
森林環境教育に関する活動及び事業構築にかかる対応	30	市町 7、市町教育委員会 10、学校 4、関係施設 3、その他 6
森林環境教育に関する広報	407	小学校 378 校、市町教育委員会 29 市町

2) 森林環境教育の推進

森林環境教育を推進するため、森林環境教育指導者の育成を図るとともに、地域における森林環境教育のコーディネートなどを行いました。

2-1) 体系的な指導者の育成

初心者・中級者・上級者といった指導者の習熟状況に応じた各種の講座・研修を実施して、ステップアップ式に森林環境教育の実践能力の向上をはかり、学校等の幅広い要求に対応可能な一定レベル以上の指導者の育成を行いました。

名称	内容
森林環境教育初心者講習1 (知識編)	森林に関する基礎的な知識の習得を目的として、エコサバーサポーターセミナー・検定試験を実施
森林環境教育初心者講習2 (技術編)	伝える(解説する)技術の習得を目的として、インタープリター養成研修を実施
森林環境教育初心者講習3 (実践編)	森林環境教育の実践能力の向上を図るため、イベント(森の学校)の企画・実践を実施
森のせんせいスキルアップ研修 (中級者対象)	主に教育的な視点からの森林環境教育プログラムを学ぶため、LEAFローカルインストラクター研修を実施
森のせんせいリーダー養成講座 (上級者対象)	高度で幅広い知識・技術の習得を目的として、森林インストラクター養成講座を実施
森づくり体験会	実際の林業作業を実践・体験することで幅広い知識・技術を習得するため、植樹体験を実施



森林環境教育初心者講習1 (知識編)

岐阜大応用生物学部准教授による座学。気候帯と森林分布の関係や、森林生態学の視点からみた地球温暖化の影響についてなど。



森林環境教育初心者講習3 (実践編)

森林環境教育の企画と実践の場の提供。イベントを自ら企画運営することで実践能力の向上を図る。7会場で開催。(ほか1会場は台風の影響により中止)



森のせんせいリーダー養成講座

全国森林レクリエーション協会のカリキュラムに沿った講義・実習。



森づくり体験会

植樹の指導方法を学ぶ場の提供。森林組合から植樹指導を受け、植樹方法及び植樹の指導方法の修得を図る。

2-2) 学校教職員を対象とした研修の実施

学校での森林環境教育の取組促進をはかるため、学校教職員を対象とした研修を県教育委員会事務局との共催により行いました。

名称	内容
学校教職員 森林環境教育講座	森林環境教育の意義や実践方法等



学校教職員 森林環境教育講座

三重大教育学部准教授による座学と実習。幼稚園から高等学校まで、幅広い教育機関の教職員が受講した。

2-3) みえの森フォトコンテストの開催

写真撮影を通して森林への興味関心を深めることを目的に、「三重の森林」をテーマとしたフォトコンテストを開催しました。

なお、フォトコンテスト開催に合わせて開催を予定していたこども森の写真教室は、台風の影響により中止しました。

名称	内容
第1回 みえの森フォトコンテスト	部門：幼児小学生/中学高校生、応募数：108点、 「みえ森林フェスタ 2014 津」にて表彰
こども森の写真教室	中止

2-4) 出前授業のコーディネート

市町交付金事業の対象とならない学校等での取組を支援するため、森林環境教育の出前授業をコーディネートしました。

市町	学校名
いなべ市	市立大安中学校
津市	市立南立誠小学校
	市立明合小学校
松阪市	市立立鶴小学校

市町	学校名
明和町	町立下御糸小学校
尾鷲市	尾鷲高等学校
小中高等学 校以外	伊賀市立さくら保育園 森の風ようちえん

2-5) 教材、資料の提供

全ての小学校での活用が可能な教材として、小学5年生の社会科教科書に対応した森林・林業の副読本を作成しました。

学校等で実施された森林環境教育を紹介し、学校での取組を促進するため、森林環境教育活動事例集を作成しました。

3) 森づくり活動の推進

3-1) 森づくり活動者の育成

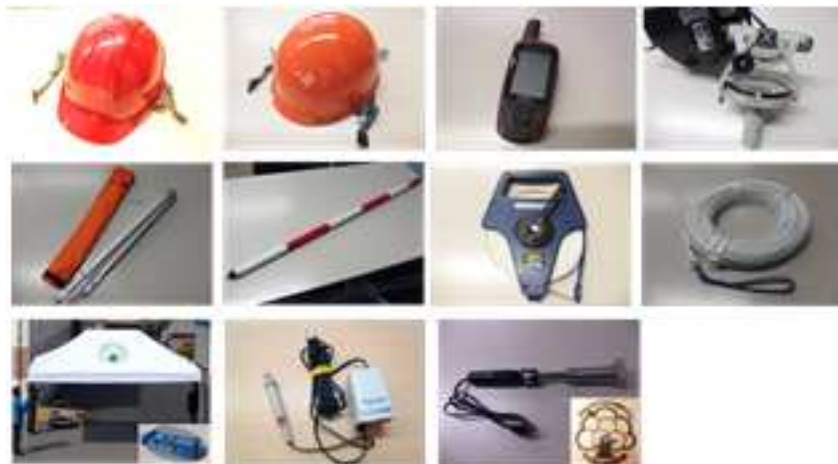
森づくりに関する適正な技術や安全管理についての研修を行いました。

名称	内容
森づくり活動初心者講習	基礎的な知識・技術、安全管理等を学ぶため、三重大演習林との共催で初心者講習を実施
森づくり活動スキルアップ研修	森づくり活動に必要な適正な知識・技術の習得を目的として、測量や密度管理の研修を実施
刈り払機安全衛生教育研修	林業・木材製造業労働災害防止協会三重県支部への委託により研修を実施
チェンソー作業特別教育研修	林業・木材製造業労働災害防止協会三重県支部への委託により研修を実施

3-2) 活動に必要な道具の貸出

ヘルメットなど、森づくりに必要な道具を県で貸し出すため、購入しました。(平成 27 年 1 月貸出開始。一部物品は 2 月に追加購入。)

貸出物品	規格等	数量
ヘルメット	大人用、赤	20
ヘルメット	こども用、オレンジ	20
ハンディ GPS	測量用、三重県森林計画図取り込み済	1
測量用ポケットコンパス	測量用	2
ポケットコンパス用金属三脚	測量用	2
測量ポール	測量用、2m (2 段)	4
巻尺	測量用、50m	2
測量ロープ	測量用、50m	2
イベント用テント	3.0×4.5m、38kg、収納バック付 透明横幕 3 辺用、重り 20kg×4 個、5kg×4 個	1
バーニングペン	ウッドバーニング用	5
焼印	みえ森と緑の県民税ロゴマーク、直径 5cm	1



みえ森と緑の県民税市町交付金事業

1. 事業の目的

この事業は、「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨（以下「みえ森と緑の県民税の導入趣旨」と言う。）に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開することができるよう、予算の範囲内でみえ森と緑の県民税市町交付金（以下「市町交付金」と言う。）を交付するものです。

2. 市町交付金の総額

毎年度のみえ森と緑の県民税の税収から制度の運営に必要な経費を除いた残りの概ね半分を市町交付金の総額とします。

（5年間の総額で、県：市町＝5：5とする。）

3. 市町への配分方法

市町交付金には、森林面積や人口を算定基礎として一定のルールに従って配分する「基本配分枠」と、事業費が基本配分枠を超える場合への対応として、市町からの申請に基づいて弾力的に配分する「特別配分枠」があります。

基本配分枠の総額と特別配分枠の総額は、市町交付金の総額を概ね3：1の割合で案分します。

基本配分枠	均等配分（各市町へ均等に一定額を配分）、人口配分（市町の人口割合に応じて配分）、森林面積配分（市町の森林面積割合に応じて配分）の3つの配分方法を組み合わせて配分します。
特別配分枠	大規模な公共施設の木造化や水源地保護のための公有林化等、事業費が大きく基本配分枠だけで対応できない場合について、市町からの事業計画申請等に基づいて弾力的に配分します。

1) 基本配分枠の配分

均等配分を1市町当たり200万円とし、残りを市町の人口と森林面積に応じて配分しますが、この時の配分割合は人口：森林面積＝1：1とします。

この考え方に基づいて算出された額を毎年度当初に県から全ての市町に内示し、交付を受ける市町は、県に交付申請を行います。

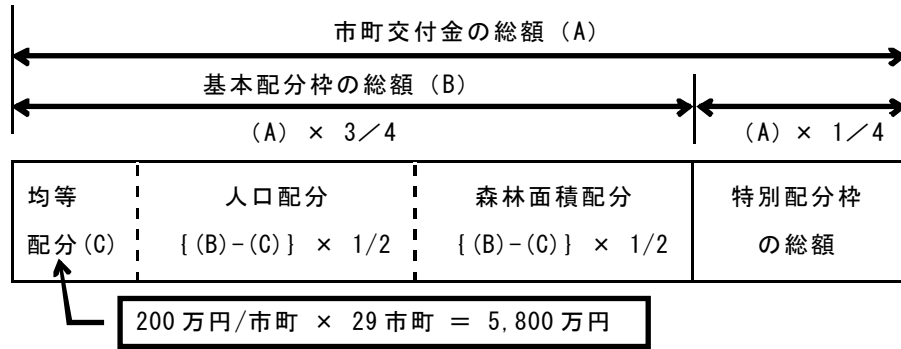
2) 特別配分枠の配分

交付を希望する市町は、事業実施前年度の10月に県に申請書を提出します。県は申請内容を審査し、その結果を同年度の12月末に市町に通知します。

新年度（＝事業実施年度）当初に県から該当市町に交付額を内示し、これを受け、市町が県に交付申請を行います。

なお、特別配分枠交付金には、市町1回当たりの申請額に上限を設け、その額を2,000万円としています。

また、5年間の申請上限額を設け、その額を3,000万円としています。



4. 市町交付金の使い途

交付金事業では、「交付金事業実施の3原則」を踏まえた上で、下表の「対策の基本的な考え方」に則った事業を実施します。

1) 交付金事業実施の3原則

交付金事業の実施に当たっては、次の3つの原則全てを満たさなければなりません。

交付金事業実施の3原則
【原則1】 既存事業の財源に巻き替えること無く、新たな森林対策として実施する新規又はこれに準ずる取組であること。
【原則2】 「2つの基本方針と5つの対策」に沿った内容であること。
【原則3】 産業振興を目的としたものでないこと。

2) 2つの基本方針と5つの対策

原則2に示す「2つの基本方針と5つの対策」は次のとおりです。

基本方針	対 策	対策の基本的な考え方
1 森林づくりに強い	1 土砂や流木を出さない森林づくり	土砂や流木によって人家や公共施設に被害が及ばないように、洪水緩和や土砂災害防止機能等の森林の働きを発揮させるために必要な対策を進める。
	2 暮らしに身近な森林づくり	生活環境の保全や向上のため、県民の暮らしに関わりの深い森林について必要な対策を進める。
2 県民全体で森林を支える社会づくり	3 森を育む人づくり	森林や緑を大切に思い・育む人づくりのため、児童・生徒をはじめ様々な県民に、森林や木材について学び・ふれあう機会を提供するなど、森と県民との関係を深める対策を進める。
	4 木の薫る空間づくり	木づかいを通じて森林を支えるため、県民の暮らしや公共空間において、建築からエネルギーまで幅広い用途での木材利用を促進するなど、木材と県民との関係を深める対策を進める。
	5 地域の身近な水や緑の環境づくり	地域の身近な水や緑の環境づくりを進めるため、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守る活動支援や、森林や緑と親しむための環境整備など、身近な緑や水辺の環境と県民との関係を深める対策を進める。

5. 平成26年度事業実績

1) 取り組まれた事業数

29市町で65事業（ほか、基金積立15事業）が実施されました。

【対策区分別取組件数と交付金額】

対策区分	取組件数		交付金額（千円）			
	事業数	市町数	基本配分	特別配分	計	割合（%）
1 土砂や流木を出さない森林づくり	2	2	5,844	0	5,844	3
2 暮らしに身近な森林づくり	22	15	72,394	33,334	105,728	45
3 森を育む人づくり	22	15	33,199	4,000	37,199	16
4 木の薫る空間づくり	14	10	43,429	29,322	72,751	31
5 地域の身近な水や緑の環境づくり	5	5	10,931	0	10,931	5
ほか、基金積立事業	15	14	31,351	0	31,351	—
合計	80	—	197,148	66,656	263,804	100

※千円未満の四捨五入により、合計が一致しない場合があります。

対策区分別の交付金充当率をみると、対策区分2が45%（72,394千円）と最も多く、次いで対策区分4が31%（43,429千円）となっています。

また、対策区分別の取組件数をみると、対策区分2と対策区分3がともに22事業で、次いで対策区分4が14事業となっています。

このことから、荒廃した里山や竹林の整備、集落周辺の危険木除去など（対策区分2）、住民に身近な森林の整備に当該交付金が多く充当されていることが伺えます。

なお、里山や竹林の整備は41箇所、人家裏や通学路の危険木除去は17箇所で行われました。

また、森林環境教育の行事は比較的低コストで実施が可能であり、多様な取り組みがなされました。（小学校での取り組み19校、住民参加の行事18回）

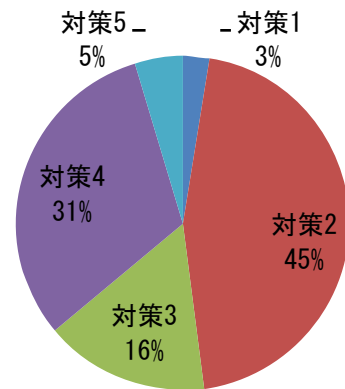


図1 対策区分別事業費充当割合

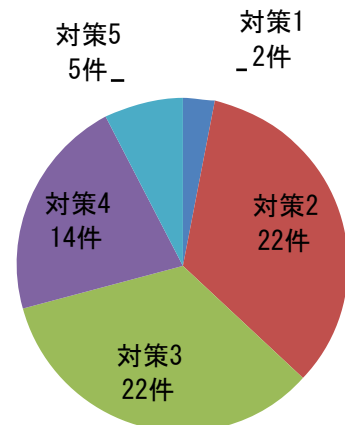
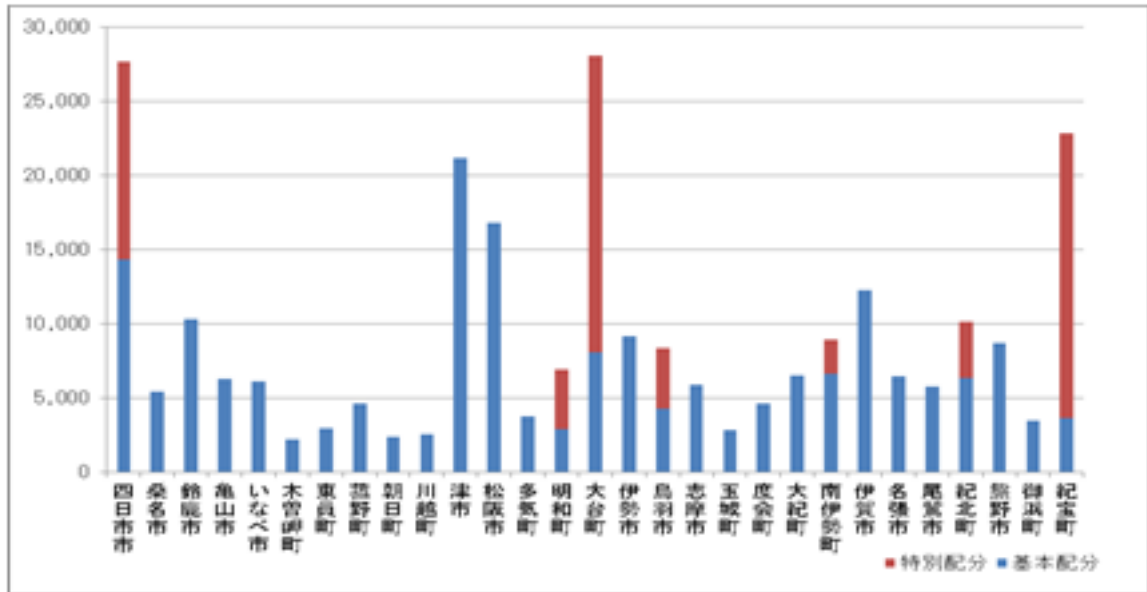


図2 対策区分別取組件数割合

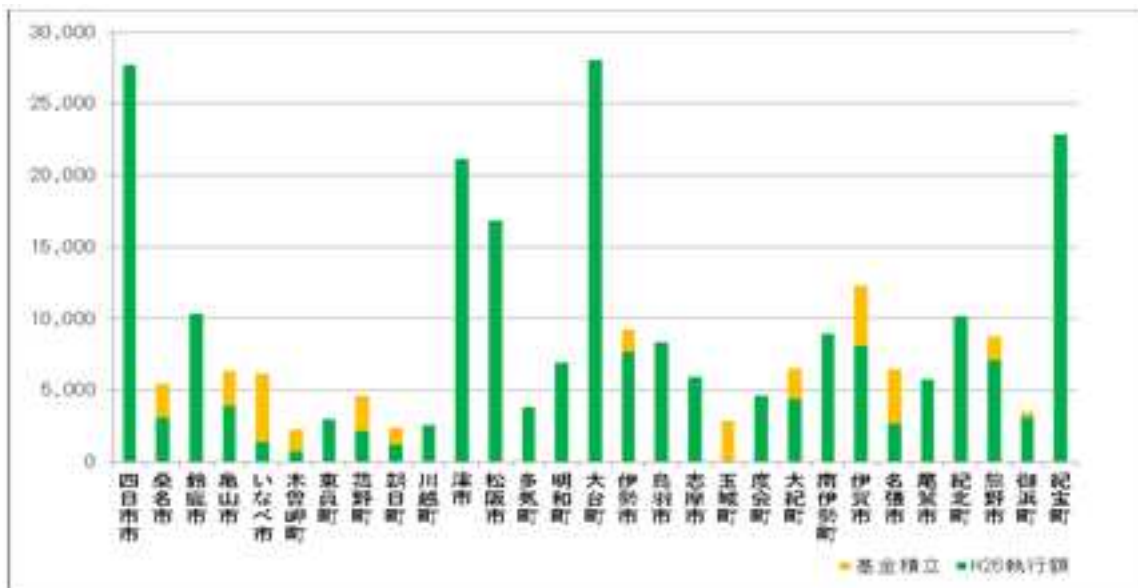
2) 基本配分枠と特別配分枠の配分実績

基本配分枠は29市町に、特別配分枠は7市町に交付しました。



3) 基金積立実績

後年度に実施するため、14市町が基金を積み立てました。



桑名市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、菰野町、朝日町、多気町、伊勢市、玉城町、大紀町、伊賀市、名張市、熊野市、御浜町

4) 対策区分ごとの取り組み概要

各対策区分を、取組内容ごとに細分化すると、次のとおりです。

対策1 土砂や流木を出さない森林づくり

取組のカテゴリ	取組件数		交付金額（千円）			
	事業数	市町数	基本配分	特別配分	計	割合
1-1 溪流内の倒木や流木の除去	2	2	5,844	0	5,844	100%
合 計	2	-	5,844	0	5,844	100%

対策2 暮らしに身近な森林づくり

取組のカテゴリ	取組件数		交付金額（千円）			
	事業数	市町数	基本配分	特別配分	計	割合
2-1 里山や竹林の整備	10	11	43,979	13,334	57,313	54%
2-2 人家裏や道路沿い等の危険木の除去	5	5	13,874	0	13,874	13%
2-3 病虫被害木の伐倒駆除や防除	4	4	12,954	0	12,954	12%
2-4 水源林の公有林化	1	1	0	20,000	20,000	19%
2-5 学校林の整備	1	1	421	0	421	0%
2-6 貸し出し用ウッドチップの整備	1	1	1,166	0	1,166	1%
合 計	22	-	72,394	33,334	105,728	100%

対策3 森を育む人づくり

取組のカテゴリ	取組件数		交付金額（千円）			
	事業数	市町数	基本配分	特別配分	計	割合
3-1 小学生対象の森林環境教育	5	5	7,114	0	7,114	19%
3-2 市町民対象の木工等の体験	4	4	3,710	0	3,710	10%
3-3 小学校への木製机・椅子の導入	3	3	10,812	4,000	14,812	40%
3-4 子ども対象の木製遊具等の配布や導入	3	3	3,469	0	3,469	9%
3-5 市町民対象の啓発イベント開催	3	3	1,593	0	1,593	4%
3-6 森林・木材関連図書コーナーの新設	1	1	99	0	99	0%
3-7 森林環境教育のためのフィールド整備	1	1	3,870	0	3,870	10%
3-8 公共的施設への木製什器類導入補助	1	1	1,181	0	1,181	3%
3-9 中学生対象の森林環境教育	1	1	1,350	0	1,350	4%
合 計	22	-	33,199	4,000	37,199	100%

対策4 木の薫る空間づくり

取組のカテゴリ	取組件数		交付金額（千円）			
	事業数	市町数	基本配分	特別配分	計	割合
4-1 公共建築物等の木造・木質化	5	10	27,382	19,176	46,558	64%
4-2 公共施設内への木製備品類の導入	5	5	6,920	10,146	17,066	23%
4-3 地域材を活用した住宅建設への支援	2	2	7,321	0	7,321	10%
4-4 木質バイオマス利用促進のための未利用間伐材運搬支援	2	2	1,806	0	1,806	2%
合 計	14	-	43,429	29,322	72,751	100%

対策5 地域の身近な水や緑の環境づくり

取組のカテゴリ	取組件数		交付金額（千円）			
	事業数	市町数	基本配分	特別配分	計	割合
5-1 保育園の園庭や公園の芝生化	3	3	8,375	0	8,375	77%
5-2 身近な公園等の森林整備を行う住民活動支援	1	1	1,956	0	1,956	18%
5-3 工場・事業所における緑化活動への補助	1	1	600	0	600	5%
合 計	5	-	10,931	0	10,931	100%

対策区分	ページ	カテゴリー	交付金充当額(千円)		市町名	市町事業名	事業内容	
			基本配分枠	特別配分枠				
1	25	溪流内の倒木や流木の除去	4,332	0	志摩市	里山関連整備事業	水源林地域での流出した間伐木等の支障物撤去。	
	26	溪流内の倒木や流木の除去	1,512	0	大紀町	溪流倒木等処理事業	溪流沿いの倒木、流木の除去。	
小計			5,844	0				
2	27	里山や竹林の整備	13,216	13,334	四日市市	水沢もみじ谷景観整備事業	危険木の除去、景観整備	
	28	里山や竹林の整備	3,076	0	桑名市	多度山環境整備事業	荒廃した里山における危険木・竹林の伐採、枯損木の伐倒処理や林内整理	
	29	里山や竹林の整備	1,200	0	亀山市	里山・竹林生活環境保全支援事業	自治会等が行う里山・竹林の再生活動支援、必要な道具等に対する補助	
	30	里山や竹林の整備	2,988	0	東員町	みえ森と緑の県民税市町交付金事業	荒廃が進んでいる緑地帯や森林地帯の整備、人家裏や通学路沿いの危険木の除去・本数調整伐	
	31	里山や竹林の整備	7,613	0	松阪市	里山の森林安全安心対策事業	森林所有者や地域の自主防災組織と連携した、集落や公共施設周辺の荒廃森林の整備	
	32	里山や竹林の整備	3,989	0	鳥羽市	暮らしに身近な森林整備事業	荒廃した里山や、集落周辺で倒木などの危険がある森林の整備、農地に隣接する森林の緩衝林化	
	34	里山や竹林の整備	6,674	0	南伊勢町	竹林伐採整備事業	放置竹林の皆伐による生活環境の向上と里山景観の保全	
	35	里山や竹林の整備	3,187	0	伊賀市	みんなの里山整備活動推進事業	自治会等が行う里山・竹林の再生活動支援、必要な道具等に対する補助	
	37	里山や竹林の整備	200	0	紀北町	集落周辺森林(里山)整備事業	地域住民・NPO等が行う集落周辺等の荒廃森林整備への補助	
	39	里山や竹林の整備	1,836	0	御浜町	御浜町竹林整備事業	拡大する竹林の除去	
	40	人家裏や道路沿い等の危険木の除去	496	0	亀山市	安全な通学路整備事業	通学路沿いの危険木の伐採	
	41	人家裏や道路沿い等の危険木の除去	1,295	0	菟野町	危険伐採木搬出事業	伐倒した危険木の搬出・処理や搬出のための作業道設置への支援	
	43	人家裏や道路沿い等の危険木の除去	8,075	0	大台町	ほつとする道ばた森林整備事業	宮川と道路間にある人工林の整備	
	45	人家裏や道路沿い等の危険木の除去	2,808	0	大紀町	生活環境林整備事業	人家裏や通学路沿いの倒木の恐れのある危険木の除去	
	46	人家裏や道路沿い等の危険木の除去	1,200	0	紀北町	人家裏等危険木伐採事業	自治会による人家裏山林等の危険木伐採費用の補助	
	48	病虫被害木の伐倒駆除や防除	10,251	0	鈴鹿市	暮らしを守る森林保全事業	松くい虫被害木の伐倒駆除や樹幹注入	
	49	病虫被害木の伐倒駆除や防除	818	0	菟野町	病虫被害木伐採搬出事業	病虫被害による倒木のおそれのある樹木の伐採、搬出処理に対する支援	
	51	病虫被害木の伐倒駆除や防除	324	0	鳥羽市	暮らしに身近な松林防除管理事業	地域住民や通行人等の安全確保のため、松林における危険木や病虫被害木の伐倒駆除	
	53	病虫被害木の伐倒駆除や防除	1,561	0	志摩市	里海・里山保全事業	地域住民や通行人等の安全確保のため、松林における松枯れ予防のための樹幹注入を行う	
	54	水源林の公有林化	0	20,000	大台町	水道水源林の公有林化事業	町内の水源地の森林(人工林を除く)の公有林化	
	56	学校林の整備	421	0	御浜町	学校林整備事業	町内小学校の放置され、荒廃している学校林の整備	
	57	貸し出し用ウッドチップの整備	1,166	0	四日市市	治山森林関係事業	放置竹林等を管理する地域住民やボランティア団体等へのウッドチップの貸出	
	小計			72,394	33,334			
	3	61	小学生対象の森林環境教育	707	0	木曾岬町	森林環境教育事業	木曾川上流部との交流活動、児童が山間地域を実感する機会づくり
		64	小学生対象の森林環境教育	2,797	0	松阪市	森林環境学習事業	小学校の教室の松阪地域の木材を活用した木質化と児童対象の森林環境教育
		65	小学生対象の森林環境教育	1,732	0	伊賀市	伊賀の森つこ育成推進事業	小学校が実施する森林環境教育の費用補助
		66	小学生対象の森林環境教育	1,678	0	尾鷲市	尾鷲ヒノキ植樹体験森林塾	小学生のヒノキ植樹体験と尾鷲林業を学ぶ森林塾の実施
71		小学生対象の森林環境教育	200	0	紀北町	森林環境教育事業	学校林等を活用した小中学生への森林環境教育や育林体験等	
73		市町民対象の木工等の体験	97	0	鈴鹿市	ヒノキのコスター・竹ポット作り体験事業	ヒノキのコスター、竹ポットづくり	
76		市町民対象の木工等の体験	444	0	亀山市	森と木材のふれあい事業	児童・生徒をはじめ様々な市民に、森林や木材について学びふれあう機会の提供	
77		市町民対象の木工等の体験	3,119	0	津市	森林・木材利用促進フェア事業	市内在住、在学の小学生と保護者を対象に「森と緑の市民塾」を開催	
79		市町民対象の木工等の体験	50	0	大紀町	木材利用促進・普及補助金	木工教室の開催	
80		小中学校等への木製机・椅子の導入	3,780	0	多気町	県産材を活用した学校机・イス整備事業	小学校への県産材を活用した机・イスの導入	
83		小中学校等への木製机・椅子の導入	2,939	4,000	明和町	学校木製備品購入事業	小学校への県産材を活用した机・イスの導入	
84		小学校への木製机・椅子の導入	4,093	0	尾鷲市	木とふれあう学校環境づくり事業	小学校への市産材で作成した机・椅子の導入、児童との共同作業による机・椅子の組み立て	
87		子ども対象の木製遊具等の配布や導入	48	0	朝日町	児童館への木のおもちゃ配備	児童館への木のおもちゃ配備	
88		子ども対象の木製遊具等の配布や導入	2,919	0	伊賀市	伊賀市ウッドスタート事業	「木育、食育」のため1歳半健診時等に、木製スプーン等のプレゼント、子育て支援センター等への木のおもちゃの配置	
90		子ども対象の木製遊具等の配布や導入	502	0	名張市	木に親しむ木製遊具導入推進事業	幼稚園、保育所への木製のおもちゃ導入	
91		市町民対象の啓発イベント開催	350	0	津市	「森と緑の市民塾」開催事業	「WOOD JOB(ウッドジョブ) 神去なあなあ日常」の上映を記念し「津市森林・木材利用促進フェア」を開催	
92		市町民対象の啓発イベント開催	243	0	伊賀市	地域の森と緑のつながり支援事業	住民自治協議会等が主催する、森林・自然や木と関連した一般募集のイベント活動に対する補助	
93		市町民対象の啓発イベント開催	1,000	0	熊野市	緑化大会開催事業	市民などによるサクラやモミジなど広葉樹を植栽する植樹祭の開催	
94		森林・木材関連図書コーナーの新設	99	0	名張市	木に親しむ図書購入事業	市立図書館に森林や木材に関する図書コーナーの新設	
95	森林環境教育のためのフィールド整備	3,870	0	津市	美里水源の森整備事業	水源のかん養とともに子育ての場、環境教育の場として美里水源の森を整備		
98	公共的施設への木製什器類導入補助	1,181	0	亀山市	かめやまの木づくり支援事業	市内の公共的施設に市産材で製作した木製什器類を導入する場合の購入費補助		
99	中学生対象の森林環境教育	1,350	0	いなべ市	間伐材等テクニカルボランティア部活用事業	中学校の木エクラブ活動で県産間伐材等を活用した木工品の製作に取り組むための機材購入		
小計			33,199	4,000				
4	103	公共建築物等の木造・木質化	10,943	0	津市	公共建築物等の県産材による木造・木質化	公共建築物等の県産材による木造・木質化	
	104	公共建築物等の木造・木質化	4,160	0	松阪市	都市公園整備事業	市産材を活用した公園内の東屋整備	
	105	公共建築物等の木造・木質化	934	0	松阪市	森林公園管理運営事業	市産材を活用した森林公園施設の木質化	
	106	公共建築物等の木造・木質化	7,681	0	伊勢市	公園整備事業	県産材を活用した公園内の東屋整備	
	107	公共建築物等の木造・木質化	3,664	19,176	紀宝町	公共施設木造化事業	県産材を活用した町立老人福祉施設の改築	
	111	公共施設内への木製備品類の導入	1,331	0	松阪市	保育園管理運営事業	市内の保育園の机・椅子の木質化	
	112	公共施設内への木製備品類の導入	0	4,046	鳥羽市	鳥羽市農水産物直売所木の薫る空間づくり事業	農水産物直売所への木製テーブル・ベンチ及び薪ストーブの導入	
	114	公共施設内への木製備品類の導入	0	2,264	南伊勢町	統合保育所建設事業(備品購入)	新設する統合保育所への木製机・椅子等の備品の導入	
	115	公共施設内への木製備品類の導入	4,755	3,836	紀北町	紀勢自動車道地域振興施設備品整備事業	県産材を活用した地域振興施設の備品類の木質化	
	117	公共施設内への木製備品類の導入	834	0	御浜町	学校施設木質化事業	学校施設における県産木材製品の導入	
	118	地域材を活用した住宅建設への支援	1,200	0	津市	木材利用促進対策事業	地域産材を利用して建設する公的施設及び住宅への補助、建設中にPRのぼりを設置	
	119	地域材を活用した住宅建設への支援	6,121	0	熊野市	木造住宅建設促進対策事業	モデルハウスとして提供できる熊野材を使用した床面積100㎡以上の住宅への支援	
	120	木質バイオマス利用促進のための未利用間伐材運搬支援	1,695	0	津市	木質バイオマス利用促進事業	林地残材を木質バイオマス利用する場合の、山林から市場等への運搬経費の補助	
	121	木質バイオマス利用促進のための未利用間伐材運搬支援	111	0	名張市	木質バイオマス等利用促進事業	未利用木質バイオマス資源の活用を図るための原木運搬補助	
小計			43,429	29,322				
5	126	保育園の園庭や公園の芝生化	1,174	0	朝日町	公共施設の緑化	幼保一体施設の園庭の芝生化	
	127	保育園の園庭や公園の芝生化	2,555	0	川越町	公共施設の緑化	保育所の園庭の芝生化	
	129	保育園の園庭や公園の芝生化	4,646	0	度会町	宮リバー度会パーク第2ピッコ広場芝張事業	公園を緑化することで、緑と親しむ環境を整備する	
	131	身近な公園等の森林整備を行う住民活動支援	1,956	0	名張市	森林公園等環境活用整備事業	森林公園等を整備する住民等への支援	
	132	工場・事業所における緑化活動への支援	600	0	亀山市	緑あふれるまちづくり支援事業	市内の工場・事業場における緑化活動への補助	
小計			10,931	0				
合計			165,797	66,656				

対策区分	1.土砂や流木を出さない森林づくり	市町名	志摩市
------	-------------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本・特別	里山関連整備事業
事業費		4,332,960円(うち交付金:4,332,000円)

1. 事業の目的
 志摩市の水源地である神路ダムの水源林区域内において、一部間伐材等で堰き止められている水路があるため、その間伐材等支障物の撤去により、水源林から水源地ダムへの円滑な水の供給と水源林区域の保全を目的とする。

2. 事業の内容
 間伐材等で堰き止められている水路において、支障となっている間伐材等の撤去及び周辺整備。
 【事業実施主体】 志摩市
 【事業費】 4,332,960円
 【事業の規模(事業量)】 支障木除去区域面積 17,489㎡
 【事業実施期間】 平成26年9月～平成27年3月

3. 事業の実績と効果
 支障木等の除去を行った面積: 17,489㎡
 神路ダム事業の恩恵を受ける農地面積 約20ha
 この水源地から水道の供給を受ける市民の数 48,039人

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	水路等を堰き止めている支障木を撤去することにより、ダムへの円滑な水の供給が図られた。
効率性	事業実施にあつては、複数の業者から見積もりを徴した。
公益性(波及度)	この水源地から水道の供給を受ける市民の数 48,039人

【今後の取組方向】
 水源区域内において、土砂等の堆積等があり、今後支障の恐れがあると判断するときは、新たに事業に取組んでいく。



6. その他特記事項
 平成27年8月号の志摩市広報紙に森林税を活用した事業結果等を掲載する予定である。

対策区分	1.土砂や流木を出さない森林づくり	市町名	大紀町
------	-------------------	-----	-----

番号	区分	事業名
2	基本・特別	溪流倒木等処理事業
事業費		1,512,000円（うち交付金：1,512,000円）

1. 事業の目的

以前の台風、豪雨によって発生した山間部溪流沿いの倒木、流木は、次期豪雨の際には下流域へ流出する可能性があり、そのことにより自然災害が増幅することも予想される。そのため倒木、流木の伐採・撤去を行うことにより、自然災害の拡大化を抑制する。

2. 事業の内容

山間部溪流沿いの危険倒木・流木を伐採・除去する（県事業以外の小規模箇所対象）

【事業実施主体】大紀町

【事業費】1,512,000円

【事業の規模（事業量）】倒木等除去本数：150本

【事業実施期間】平成27年2月6日～平成27年3月27日

3. 事業の実績と効果

今後発生する台風や豪雨の際に、下流域での流木の衝突や橋梁への堆積による危険が予想されるが、事業（県事業以外の小規模箇所対象）を実施することにより、流木が発生しにくくなり、住民の安全性が拡大することが期待される。

【事業の規模（事業量）】倒木等除去本数：150本

【事業の受益者数】整備によって生活環境が向上する集落の戸数及び人数 230戸 700人

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	今後発生する大風や豪雨の際に、流木が発生しにくくなり、地域住民の安全性が拡大した。
効率性	森林組合に事業を委託したことにより、効率的に事業が実施できた。
公益性（波及度）	倒木等除去により、下流域の住民の安全性が拡大した。

【今後の取組方向】

今後も、住民の安全性を向上させたい為、次年度以降も当該事業を継続する。

5. 写真



6. その他特記事項

平成26年度の事業結果を、町ホームページにて平成27年度中に掲載予定。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市
------	-----------------	-----	------

番号	区分	事業名
2	基本・特別	水沢もみじ谷景観整備事業
事業費		26,550,000円（うち交付金：26,550,000円）

1. 事業の目的

本市水沢町の東海自然歩道沿いに存する「水沢もみじ谷」は本市の主要な観光資源のひとつであるが、斜面が急峻であることから、台風等の大雨の度に上部の県道44号宮妻峽線から流入する雨水排水が斜面を侵食し、立木（シデ類）の倒木や法面の崩落が発生している。

このため、倒木の恐れがある危険木を除去するとともに崩落した法面を補修し、もみじ谷としての景観を保全しつつ森林整備を行い、紅葉狩りや森林浴の場として、また、ハイキング等による健康増進のために活用する。

2. 事業の内容

- ・事業実施主体：四日市市（単独事業）
- ・事業費：26,550千円（2カ年総事業費 66,387.6千円）
- ・工事の概要：施工箇所 四日市市水沢町地内
厚層基材吹付工…1,283㎡ 植生マット工…1,520㎡ 地被類植栽工…2,804㎡
- ・事業実施期間：平成27年1月～平成27年3月（2カ年 平成27年1月～平成27年7月）

3. 事業の実績と効果

東海自然歩道の主要な景勝地、もみじ谷の景観及び散策者の安全と健康増進に資する。

- ・事業実施面積：約2,900㎡
- ・除去する危険木の本数：約30本
- ・事業の受益者数：「もみじ祭り」への来場者のほか東海自然歩道に散策に訪れる人数（年間2万人以上）

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	東海自然歩道の主要な景観地、もみじ谷の景観及び散策者の安全と健康増進に資する。
効率性	工事の発注にあたっては、一般競争入札を行った。
公益性(波及度)	「もみじ祭り」への来場者のほか東海自然歩道に散策に訪れる人数（年間2万人以上）

【今後の取組方向】

来場者への影響が少なく、梅雨前である1～5月を工事期間とし、多くの来場者が見込まれる11月までに景観を整備する。

5. 写真

法面崩落の様子（手前は東海自然歩道）

6. その他特記事項

当地では、地域住民が主体となって自然環境の保全に取り組むなど、地域住民による森林づくりが行われています。また、例年11月下旬には「もみじ祭り」を開催するなど、紅葉の時期には毎年大勢の来場者で賑わっています。しかし、度重なる大雨の影響による倒木や法面の崩落が発生し、地域住民の力だけでは対応できない状況にあることから、本市として新たにこの事業に取り組むこととしたものです。

なお、交付金事業として実施した場合は、もみじ祭りの開催案内（チラシ等）への掲載、現地への看板設置を行い、当該事業が広く県民の負担で実施されたことを広報します。